

# 平成 24 年度事業計画

## 《事業方針》

依然として続く景気の低迷ですが、社会福祉事業の制度改革も先行き不透明であります。各事業の見直しと廃止、そして予算の削減等が行われようとしています。私たちは時代の変化に柔軟に対応し、社会的ニーズに適切に応える質の高いサービスを提供できるよう努めて参ります。本年度も「個別支援計画書」に基づき、利用者の方々が希望を持ち、可能性を見出せるよう生活を応援し、その人らしい健康で自立した生活、生きがいと喜びのある生活が出来るよう努めて参ります。その為にも、今年度より新規事業として「居宅生活訓練事業」の実施を予定しております。

### <重点目標>

#### 1. 生活意欲の醸成

日常生活を通して生活の主体者としての「自覚」と「自主性」を養い、小さな事でも自分で行う施設内（ADL）自立を目指せる様、個別支援計画書に基づき支援をしていきます。また、『風情』ある行事の見直しを継続すると共に、参加型レクも多く取り入れ、生きがいとしての生活目標を持つことにより、生活意欲の醸成を図ります。

#### 2. 健康管理

利用者さんのうち精神患者が半数を上回る現状においては、精神科嘱託医とより連携を密にし『日頃の観察』に重点を置くと共に、高齢化などによる疾病への対応と早期発見と早期治療に当たります。また、施設内感染対策及び、各種検査等の充実を図るとともに「施設内リハビリ訓練」が2年目に入った事から更なるステップアップを計りたい。

#### 3. 給食

集団給食に変化を持たせる意味からも、外食レクに加え、行事食を充実させると共に、食事時間の見直しも図り、『食は最大の楽しみ』となるように利用者さんの声を反映していきます。

#### 4. 環境整備

高齢化、重度化による日常生活動作（ADL）の見直しに基づき、今年度も給排水設備、居室及び、共用部分の改修など保守点検を含む『3か年計画』を継続します。

#### 5. 防災・訓練

昨年より実施した『職員非常呼集』を継続し、施設としての危機管理意識を高めます。又、高齢化、重度化に対応した「介助避難」に重点を置くと共に、非常食（飲料水）の備蓄増及び、防災用品の充実を図ります。

一方、訓練の一環として、作業は利用者さんの自主性を促すと共に『生きがい』につながることから作業量の確保に努め継続します。

#### 6. 地域交流

施設行事や町内会行事を通して交流を密にするとともに、施設資源の活用として施設の開放、器具、備品等の貸し出しに協力します。又、施設主催の行事等には『ボランティア』としての協力もお願いしていきます。

## 7. 家族との交流

毎年の帰省に加え、刊行物（みちしば）の発行による「情報の開示」と、施設行事に来ていただくなど積極的に交流を図ると共に、本年度は『ホームページ』を立ち上げ、より一層の理解を深めていきます。

## 8. 緊急一時保護

近年の経済情勢を反映するかのよう増加の一途を辿っていますが、社会的ニーズに対応すべき『セーフティネット』の役割を果たしていきます。

## 9. マニュアル対策

北海道救護施設協議会の利用者支援マニュアル集を活用し各種マニュアルの整備を行います。又、リスクマネジメントへの対応として、苦情解決委員会、ヒヤリハット対策委員会など「各種委員会」の活用を図り、危機管理に対応すると共に『実践的なマニュアル』作りに取り組みます。

一方、今年度は評価機関による「第三者評価基準の救護版」も出来上がったことから、年度内の受診を予定し施設の資質向上に繋げたい。

## 10. 職員体制

配置基準を厳守し業務の見直しと共に利用者さんの日常生活動作（ADL）の変化に対応した「勤務体制」を確立し、より良い処遇の向上に努めます。又、利用者さんの多様なニーズにこたえる為には職員の資質の向上は欠かせないことから、『内部研修』の充実を図ると共に資格取得にも積極的に援助を行っていきます。健康管理面では生活習慣病検診における「検査項目の増設」と『感染症対応の検査』なども積極的に実施継続していきます。

一方、国、地方公務員の給与の見直しが続く中、職員処遇は近年の措置費（事務費）の減額により十分な対応が図れていないのが現状です。しかし、職員の労働意欲の低下をきたさぬよう法人内で十分協議し、最善の対策を検討します。

最後に各種補助金の消滅はもとより措置費の減額改定の続く中、運営方針は『定員確保』（100名）を最重点に置き、職員の創意工夫と協力のもと効率的な予算執行を心掛けた施設運営を実施して参ります。

## ※救護施設居宅生活訓練事業

### 【事業概要】

救護施設に入所している被保護者が円滑に居宅生活に移行できるようにするため、施設において居宅生活訓練を行うとともに、訓練用住居（アパート、借家等）を確保し、より居宅生活に近い環境で実体験的に生活訓練を行うことにより、居宅生活への移行を支援する。

### 《処遇計画》

救護施設におけるサービス理念「いかなる環境に有る者も、どのような障がいをもつ者も全て等しい存在であり、人間としての尊厳においていささかの差異があってはならない」という基本理念の下、人権を尊重し障がいの種類等を問わず生活の場として満足でき、その人らしい豊かな生活を送れるように支援していきます。

利用者さんの最低限度の生活を保障（衣食住の提供）すると共に、日常生活の観察を通し異

常の早期発見と健康維持に努めます。家族との交流、作業、機能訓練、レクリエーション、クラブ活動、防災訓練等により安心して生きがいのもてる生活ができるように支援していきます。

満足度の高い生活を実現する為に、利用者さんの希望、要望の確認をします。心身の状況や社会的な状況を丁寧にアセスメントし生活課題や目標を利用者さんと共に考えていきます。個別支援計画の策定に努め、利用者さんの要望にそった生活が出来るように支援していきます。今後は全ての利用者さんの支援計画を全国救護施設協議会、救護施設個別支援計画書へ移行すると同時に順次、実践、見直しを行ないます。

## 【1・重点目標】

- 1.その人らしい自立した生活
- 2.利用者さん個々の満足度の高い生活
3. 健康と残存能力の維持

## 2・処遇方針

利用者さんの高齢化に伴い、予想しない転倒や思いがけない事故等が増えてきています。日常生活での変化を見逃さず的確に把握すると共に、機能訓練を行い未然に防ぐように努めます。

利用者さんひとりひとりが安全で満足感のある生活を送っていただく為に、希望、要望を大切にし、目標を達成する為に職員間の連携を十分にとり協力し支援していきます。

温かい人間関係を築き数々の行事やクラブ活動に、より潤いのある日常生活を過ごして頂きます。また安全な生活環境づくりに努め、関係機関とも協力し指導・支援を行います。

## 3・生活指導

基本生活の充実を図り次のことに留意し個別支援をしていきます。

- ① 清潔を保ち、健康に留意すること。
- ② 利用者間の良好な関係をつくること。
- ③ 充実した日常生活を送るため、作業、クラブ、レクリエーションの参加を促すこと。
- ④ 小遣いは計画的・有効的に使うこと。
- ⑤ できることは自分ですること。
- ⑥ 日常生活の安全を図り、事故の防止に努めること。

## 4・家族との交流

開設記念行事など気軽に施設に来て頂ける機会を提供するとともに、機関紙「みちしば」の発行を通して、施設の事や利用者さんの生活の事を知って頂きます。

## 5・作業訓練

作業を通じ利用者さんの自主性を促すと共に生きがいと自立に繋がるように支援していきます。今後も「紙袋作業」を継続して行なうと共に、「割り箸作業」も作業量の確保を図りながら実施していきます。また「畑作業」も定着してきており、作付けする作物についても利用者さんの意見を取り入れながら実施すると共に季節の収穫を楽しみます。

## 6・機能訓練

筋力の低下による転倒事例が増えてきていることから、健康保持と体力の維持、向上を目標に理学療法士の指導のもと個別のリハビリ訓練を日課に取り入れ2グループに分け実施します。日々の運動については、ラジオ体操や散歩を継続します。また散歩については夏期間は朝におこない、冬期間は施設内でおこなうなど工夫して実施します。

## 7・レクリエーション

別紙行事予定表にもとづき実施します。集団での実施が困難であり利用者さんの身体状況に合わせグループ分けを行い、誰もが楽しめる風情のあるレクリエーションの実現を目指します。

## 8・クラブ活動

余暇の活用を図り、個々の希望のクラブに参加して頂きメリハリと潤いの持った生活の実現を目指します。また合同行事での発表や展示、販売活動を通して活力のある活動をします。

### 1) 書道クラブ

季節感のある楷書、行書、かな絵づくりなど、従来の習字のみにとらわれず、個性を尊重し楽しく自由を書くことをテーマに活動します。

### 2) レザークラフト

年齢や能力に合わせて、しおりやコースター等新しいデザインや色合いにも挑戦しながら作品作りをしていきます。また、開設記念行事に向けてひとつでも多くの展示が出来るように取り組みます。

### 3) 陶芸クラブ

外部講師による指導のもと、楽しみながら作品作りをします。興味のある利用者さんにはクラブ員に関係なく声をかけ一人でも多く参加していただけるように活動します。

### 4) 舞踊クラブ

外部講師の指導のもと、合同演芸会や施設での演芸会の発表を目標に、健康に気をつけながら楽しく踊り無理がかからない様に活動します。

### 5) 華道クラブ

花の美しさを鑑賞し、花の持ち味を活かしながら、生ける人の感性を大切にした作品作りに取り組みながら、生けた花は寮内に展示し皆さんに見てもらいます。

### 6) 茶道クラブ

ゆっくりとした雰囲気の中、茶道(裏千家)の基本を覚え、利用者さんを6名お招きし稽古の成果を発表します。また、開設記念行事にはお茶会を開きます。

## 7) 音楽療法

外部講師による指導のもと、楽しいひと時を過ごすとともに、リハビリ訓練の一環として生理的・心理的な効果を応用して心身の健康の回復や活性化を図ります。

## 8) 寮心太鼓

外部講師の指導のもとで和太鼓を楽しみ無理のない練習を行うと共に発表の場を設け、練習の成果を発表します。また、利用者さんの状況に合わせて一部、二部に分け楽しめる活動をしていきます。

## 9・防災訓練

防災対策として利用者さんの高齢、重度化に対応した火災訓練を年間三回行なうと共に地震を想定した訓練を年間一回行ない、安全で安心な施設生活を送れるように努めます。今年度も訓練内容に非常食(食料・水)を実際に食べてもらいより実体験に近い訓練を実践します。

## 10・地域社会との交流

地域住民の一員として積極的に地域とのかかわりを持ちます。開設記念行事や合同夏祭りでは地域住民の方々をご招待すると同時にボランティアの受け入れを行い、施設の理解を深めます。又、北郷瑞穂町内会の夏祭りの参加を通し交流を図ると共に、街路清掃を通し地域の美化に努めます。

## 11・給食

生命保持、健康を維持することを目的として必要な食物を提供します。

日本人の食事の欧米化は、エネルギー、動物性脂質や蛋白質の過剰と食物繊維とビタミン、ミネラルの不足をもたらす肥満、糖尿病、動脈硬化などの生活習慣病を増加させます。

生活習慣によって引き起こされる疾病の予防と高齢に伴う障害を軽減するためにも、日常の生活習慣の改善が必要で、行動変容をすることでなされます。

また、毎日口から食事をとることにより、精神的満足や消化管の機能低下防止につながり、健康で穏やかな日々を過ごし長寿を達成することができます。

健康でおいしく食べるために、献立は食料構成をもとに1日30品目摂取に努力し、消化吸収を考え給食懇談会での意見を反映させます。

食品鮮度の確保、盛り付けの工夫を行い、食品事故防止の定期検査や保存食確保を行います。感染症対策にはマニュアルに基づき適切な対応をとります。

## 12・健康管理体制並びに保健衛生

利用者の日頃の観察に重点を置き、疾病の早期発見に努め、嘱託医との連携を密にし健康管理を行っていきます。

また、身体機能の低下を防止するため、施設内で理学療法士の指導のもと職員がかかわり個別の運動を実施していきます。

利用者の各種検査なども定期的に行い、感染対策にも積極的に取り組んでいきます。

- 1) 定期的な居室の消毒と浴槽の湯の菌の検査を実施します。
- 2) 利用者に対して各種健康診断の必要性を理解してもらい疾病の治療に努めます。
- 3) ノロウイルス、インフルエンザその他の感染予防にも適切に対応していきます。
- 4) 嘱託医並びに協力医療機関との連携体制を図り、医務室の充実に努めます。
- 5) 利用者の急変時にそなえ、AED 導入にていち早く応急手当ができるように努めます。
- 6) 肺炎予防のため(70 歳以上必要者のみ)肺炎球菌ワクチン接種に対応していきます。
- 7) 理学療法士の指導のもと職員が関わり「リハビリ訓練」を行い、利用者の機能低下防止に役立てていきます。
- 8) 月別保健衛生計画は別表のとおり実施します。

## 保 健 衛 生 計 画 表

4 月	定期全員身体測定 (体重・血圧)・胃癌検診
5 月	未通院者採血
6 月	アースレット消毒 コスモ脳外定期 MRI 検査(一部)
7 月	胸部検診 (検診車)・内科通院者定期採血
8 月	レジオネラ菌検査
9 月	大腸癌検診
10 月	定期全員身体測定
11 月	内科通院者定期採血・インフルエンザ予防接種
12 月	アースレット消毒
1 月	レジオネラ菌検査
2 月	乳癌・子宮癌検診 (個別通知により)
3 月	内科通院者定期採血
定 期	① 内科寮内診察 (第 1・第 3 水曜日) ② 精神科寮内診察 (月 1 回 第 1 火曜日) ③ 皮膚科寮内診察 (月 1 回 第 3 水曜日) ④ 脳外寮内診察 (月 1 回 第 3 土曜日) ⑤ 定期身体測定 (体重・血圧) ⑥ 内科通院者採血・検尿 (4 ヶ月に 1 回) ⑦ 未通院者採血・検尿 (6 ヶ月に 1 回) ⑧ 大腸癌検診 ⑨ 機能訓練
随 時	① 通院介添え ② 健康相談 ③ 救急看護 ④ 口腔衛生 ⑤ 要観察者 (体重・血圧等)

# 年間行事計画表

月	行事予定	月	行事予定
4	誕生祝 第32回カラオケ交流会 外食とショッピング（イオン）	10	誕生祝 1泊レク（遠距離） 第37回合同演芸会
5	誕生祝 第59回開設記念行事 ビデオ上映 外食とショッピング（イオン）	11	誕生祝
6	誕生祝 1泊レク（近距離） 野球観戦	12	誕生祝 餅つき 年忘れ演芸会・クリスマス 年越し
7	誕生祝 第25回合同夏祭り 手作り体験とショッピング（イオン） 演芸会 手作り体験	1	誕生祝 第35回合同カルタ大会 書初め・ビデオ上映 障害者歩くスキー
8	誕生祝 盆踊り 七夕祭り 外食とショッピング（イオン）	2	誕生祝 節分（豆まき） ミニコンサート ゲーム大会
9	誕生祝 敬老会 第12回合同パークゴルフ大会 外食とショッピング（狸小路）	3	誕生祝 ひな祭り

## 個別支援計画の取り組み

平成 23 年度：利用者さんの希望・要望及びアセスメント、支援計画策定、実施。 2 2 名

モニタリングの実施

各チームにパソコン導入、導入後計画書の打ち込み

平成 24 年度：利用者さんの希望・要望及びアセスメント、支援計画策定、実施。 2 2 名

モニタリングの実施

平成 25 年度：利用者さんの希望・要望及びアセスメント、支援計画策定、実施。 2 2 名

モニタリングの実施

平成 26 年度：利用者さんの希望・要望及びアセスメント、支援計画策定、実施。 2 2 名

モニタリングの実施

チーム・職員数・利用者配置数	完成者数	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	利用者 完成者数/配置人数
男子（職員 4 名・利用者 40 名）	5	8	8	8	12	41/40
女子（職員 5 名・利用者 36 名）	6	10	10	10	0	36/36
介護（職員 5 名・利用者 7 名）	7	10	3	0	0	20/20